

問 子育てするなら弥富を取り戻せ

答 ー子どもまんなか社会の実現目指す



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 本市の年少人口の推移傾向は。

答 〔健康福祉部長〕 令和元年度から5年間で約1割の減少。5年後さらに1割減少する。

問 年少人口減の分析と改善策は。

答 子育てに対する負担感の増大等が要因。子育て支援施策を充実させる。

問 それらの改善計画は。

答 こども計画を基に、施策を継続。ニーズに応じ見直しを行い、新たな取組を進めていく。

問 本市の公園の数は、他自治体と比較してどうか。

答 〔建設部長〕 61カ所の公園と多数の大規模公園が整備され十分である。

問 前ヶ須に公園を整備する計画は。

答 計画はない。

問 交通児童遊園（公園）を整備する考えは。

答 考えはない。

問 日曜日に室内で遊べる場所を整備する考えは。

答 〔健康福祉部長〕 室内で遊べる公共施設はない。

問 保育所の開所時間と、学校の開始時間のズレへの認識は。

答 〔健康福祉部長〕 保育所は午前7時30分、小学校は午前8時10分頃登校。

問 そのズレを解消するための手立ては。

答 開始時間の見直しは困難である。

問 「子育てするなら弥富市へ」を取り戻すための考えは。

答 〔市長〕 「子どもの未来をはぐくむまち・弥富」を

基本理念とし「子どもまんなか社会」の実現を目指す。



▲交通児童遊園（蟹江町）

問 安心・安全の弥富市に

答 防災意識を高めていく

問 保育所や学校の災害対策は。

答 〔健康福祉部長〕 保育所の地震等防災マニュアルに基づき訓練。

教育部長 小中学校では防

災計画に基づき防災教育と避難訓練を行っている。

問 備品などの配備は。

答 〔総務部長〕 避難所等に配備している。プッシュ型支援で物資を供給し不足を防ぐ。

問 今後、どのようなものを備えていくか。

答 停電に備え、リチウムイオン蓄電池を順次配備する。

問 学校や保育所で海拔がマイナスになっている場所

答 海抜がマイナスでないのは南部保育所のみ。

問 マイナス1・9mの場所に学校を建てるのは妥当か。

答 〔教育部長〕 万が一に備え、3階に避難スペースを設置。

問 文科省の出している「水害リスクを踏まえた学校施設の水害対策の推進のための手引き」を承知か。

答 承知している。

問 よつば小学校の避難所の指定は。

答 〔総務部長〕 他の指定避難所と同様に弥富市立よつば小学校も避難所として指定する。

問 安心安全の本市として、市長総括を。

答 〔市長〕 官民問わず緊急時避難場所や広域避難場所の災害協定の締結を進めており、緊急時避難場所の拡大や自主的広域避難の周知に努めている。



▲2次開設避難所の看板